

# 協和テクノ株式会社

「目指すは日本の農業を守る会社」

[製造業]鳥獣害防除機具の製造・販売

代表者名：代表取締役 飯川暁則

従業員数：8人

創業：昭和44年（平成8年社名変更）

住所：須坂市臥竜6丁目12番1号

TEL：026-245-5438

事業内容：鳥獣害防除器具の製造・販売、電気柵や獣害フェンスの販売・施工、防音ボックスの製作

給与：18万～23万

<https://www.kyowatecno.jp/>

近年、日本ではサルやシカやイノシシなど野生動物による農作物への被害が問題になっています。須坂市も山際に耕作放棄地や遊休農地が広がるため、そこを歩いて里へ出没するケースがあります。農業者は経済的な損失とともに、働く意欲が減退するという悪影響にまで及んでいます。この問題を解決するため、電気柵の設置など鳥獣害対策に関わり活躍



しているのが協和テクノ株式会社です。市街地からも近く、須坂市を代表する里山「臥竜山」を目の前に眺める場所にあります。

## ●都会暮らしからUターンで家業へ

協和テクノは1969年に創業し、今年（2019年）でちょうど50周年を迎えます。2代目の飯川暁則社長は現在47歳。市内の若手経営者の勉強会にも積極的に参加しながら学び続ける社長です。家業に関わることに至った経緯を明るく謙虚に話してくれました。

「須坂市で生まれて高校まで過ごしましたが、卒業後は東京の専門学校へ進学し、以降ずっと都会で暮らしていました。

須坂に戻った方がいいのかなど考えることもありました。離れて暮らしていた父親から「得意な



パソコンを使ってホームページを作成してくれないか」と言われ、自分が会社に必要とされていることに気づき、29歳の時にUターンをしました」

## ●鳥獣対策のものづくりに携わるまで

「協和テクノの前身となる協和電工長野株式会社は、電子部品の下請け会社として父親が始めました。時代とともに景気



が悪化し中国経済の影響を受けるようになった頃、農業関係者から「畑から聞こえる獣対策用のガス爆音機がうるさいので何とかならないか」という相談を受けました。ここから鳥獣対策の研究が始まり、ガスの爆音に代わる機械を作ることになりました。鳥獣対策が始まった頃に父親が他界し、代替わりによって自分が社長になりました」

鳥獣害対策への取り組みが始まったところでの代替わりは、飯川社長にとっては大変でもあり学びの多い時期だったと話してくれました。

「下請け仕事が激減し、鳥獣害製品もまだ立ち上げ段階だったこともあり、とにかく仕事が見つかることに必死でした。まずは農業者が希望する鳥獣対策機器の製造に一生懸命取り組み、農家さん向けのホームセンターへ出向いて実演販売もしました。外に出て現場をまわったことで営業力を学ばせてもらったと思います。そんな中、



防音ボックスの会社社長との出会いから、防音ボックスの製造も手掛けることになりました。鳥獣害対策の業務も徐々に北海道や沖縄までお客様の範囲が広がり、大きな農場用の電気柵の注文を受けるなどネット販売も機能し始めました。コツコツやってきたことでここまで繋ぐことができました」





## ●鳥獣害対策への取り組み



協和テクノの理念は「日本の農業の発展を支援していく企業」「地域社会、自然環境に貢献する企業」です。須坂市では自然との共存を目指し農業者を守るため、地域住民・企業・市が連携し鳥獣害対策に取り組んでいます。市内の山際の地域では協和テクノのサポートで電気柵の設置を順次進めています。この電気柵は世界的にも効果が認められているガラガー社（ニュージーランド）の製品。協和テクノは、このガラガー社の販売代理店としての役割も担っています。今後も須坂市では、設置した電気柵に加えて協和テクノで開発

・製造した遠隔監視システム機器『エフモス Jr.』を順次設置することになっています。これは設置現場に行かなくてもスマホで電気柵の電圧確認ができるという優れたものです。このような取り組みができる企業は近隣地域でも珍しいため、地元で貢献できる強みでもあります。



## ●好きな自然に関わって貢献できる仕事

静岡県出身の野田さん（41歳）は、地元静岡で働いたのち新潟県の専門学校を経て協和テクノに就職をしました。隣の長野市で奥様と2人暮らし。就職してちょうど一年を迎えたところです。



「専門学校では自然関係の学科で雷鳥の生態調査を勉強していました。もともと自然が好きで登山やシャワークライミングなど仲間と楽しんで20年になります。自然ガイドの資格も取得しています。東京で開催していた獣害のリクルート

イベントで飯川社長が声を掛けて下さったことがきっかけで、これまでの自然界への思いが重なり協和テクノに就職することになりました。現在は営業担当で製品を広めるのが役目です」

「せっかく苦労して作った農作物も鳥獣によって荒らされてしまうことはある意味「災害」でもあります。獣害によって農作物が作れなくなると農業者が家にこもってしまうというデータもあります。鳥獣害対策は、それを解決するための重要な仕事です。協和テクノは少人数で、相談事や自分の意見を直接社長に届けられるのが魅力です。信頼して仕事を任されていることは責任を感じますし、やりがいもあります。社会に大きく貢献できる会社として、これからも県内のみならず他県にも協和テクノの製品を広めたいです」

## ●日本の農業を守る人材

協和テクノは長野地域だけでなく全国各地で開催される展示会にも積極的に出展しています。また、鳥獣被害が多い地域の農家さんと直接会って現場の声を聞くことも大切にしています。

「お客様一人ひとりの気持ちになって一生懸命製品づくりに取り組んでいます。製造も営業もそれぞれが集中して丁寧に、そしてスピード感を持ってサービスを行うことを目標にしています」

「希望する人材は、電気関係に詳しく電子回路が組めたりマイコンのプログラミングに興味がある人、経験のある人が理想です。専門的な知識があれば製品づくりに直ぐ取り掛かられると思います。SEの知識だけでなく技術も必要になってくるかもしれません」

豊かな自然に囲まれた須坂市で、協和テクノはアイデアと技術力をもとに農業者や住民が安心して暮らせる町づくりに貢献しています。日本の農業を守るのは技術力と自然を愛するあなたの思いかもしれません。（2019年6月インタビュー）